

平成27年度 柳川山門医師会ブロック 第1回多職種連携研修会 参加者アンケート結果

○ 申込者数:75名

○ 参加者数:71名

○ アンケート回収数:67名
(回収率:94.4%)

(開催日時)

平成27年8月26日(水) 19:00~20:30

(開催場所)

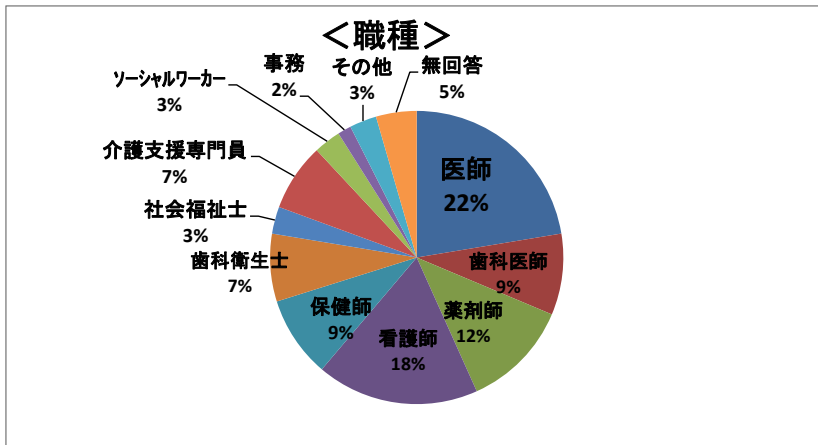
柳川山門医師会館

(内容)

グループワーク:「医療介護連携における問題点の抽出」

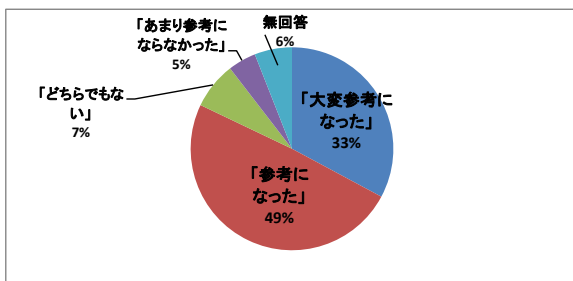
1. 回答者の内訳

職種	所属	病院	診療所	歯科診療所	薬局	訪問看護 ステーション	居宅介護 支援事業所	介護老人 保健施設	有料老人 ホーム	行政機関	地域包括 支援センター	その他	計
医師		2	13										15
歯科医師				6									6
薬剤師					8								8
看護師		5				7							12
保健師											3	3	6
歯科衛生士				5									5
社会福祉士		2											2
リハビリスタッフ													0
介護支援専門員							5						5
ソーシャルワーカー		2											2
相談支援員													0
事務		1											1
その他							2						2
無回答				2								1	3
計		12	13	13	8	7	7	0	0	3	3	1	67



2. 本日の研修会はいかがでしたか？

	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	保健師	歯科衛生士	社会福祉士	介護支援 専門員	ソーシャル ワーカー	事務	その他	無回答	計
「大変参考になった」	2	1	2	3	2	3	2	3	1	1	1	1	22
「参考になった」	9	3	5	6	4	1	1	2	1		1	1	33
「どちらでもない」	3		1	1									5
「あまり参考にならなかった」		1				1					0	1	3
「参考にならなかった」													0
無回答	1	1		2									4
計	15	6	8	12	6	5	2	5	2	1	2	3	67



※ リハビリスタッフ、相談支援員は参加者なしのため上記表から除外。

3. 本日の研修会で良かった点についてお聞かせください。

(医師)

- ・今現在、核となるものがないため大変だと思うが、みなさんと考えながら実践できるよう協力していきたい。
- ・様々な立場からの考えの違いが分かった。
- ・多職種の問題点を提供することで、共有でき、問題点もクローズアップされたと思う。
- ・多職種間で、顔が見えることが大切だと感じた。
- ・ある程度の本音(特に医師のハードルの高さ)が聞けて良かった。
- ・医師のハードルを下げ、コミュニケーションを図ることが必要だと感じた。

(歯科医師)

- ・各職種が抱えている問題点がはっきりとして良かった。
- ・問題点だけであることが分かった。
- ・多職種の状況や現状が理解できた。

(薬剤師)

- ・各職種が抱えている問題点が分かった。
- ・多職種の方の顔が見れて良かった。
- ・ディスカッション形式で問題点を掘り起こすことができた。
- ・多職種の方との連携の必要性を感じた。
- ・様々な問題点の中には、思いもよらない事項があって考えさせられた。
- ・同職種間でのグループワークだったからこそ、悩みが意見が出しやすくて話し合いがスムーズにできたのではないかな。

(看護師)

- ・多職種の課題が見えたことが良かった。
- ・多職種の連携がつながればどんなにいいかと思った。
- ・看護師の立場として、薬剤師、歯科衛生士の業務内容が一部見れたことが良かった。もっと詳しく知りたいと感じた。
- ・問題点が明らかになったのだから、今後改善点を探し生かしていく方向にしていきたい。
- ・今日の研修が、今後の一歩として何か出来るのではないかと思えた。
- ・多職種の方と顔合わせが出来たことが良かった。
- ・問題点は共通していることが多いと感じたため、共通認識であるならば解決にもっていけるのではないかな。しかし誰がリードするかがはっきりしていないため難しいと思う。

(保健師)

- ・問題点だけでなく、どうしたら改善するかまで考えているグループが多くて良かった。
- ・多職種の方の率直な意見が聞けて良かった。
- ・各職種の発表を聞き、相互理解が深まり認識の違いも分かった。
- ・今後は、具体的にどう連携しなければならないのか、お互いが掘り下げて考えていく必要があると感じた。

(社会福祉士)

- ・歯科医師や歯科衛生士等、普段連携をとる機会のない方の意見を聞けて大変参考になった。
- ・同職種、多職種に関わらず、問題点は似通っていると思った。いずれにせよ、問題点は明確になったと思う。

(歯科衛生士)

- ・多職種の方の悩みや問題点が掘り起こされたことがとても良かった。
- ・同職種間でコミュニケーションが図れたことも良かった。
- ・自分ももっと考えていきたいと思った。
- ・どの職種も問題点を抱えながら仕事に追われていることが分かり、連携不足は歯科だけではないことが分かった。
- ・顔の見える関係づくりをつくり、少しずつ改善していかなければいけないと感じた。

(介護支援専門員)

- ・同職種のグループワークで課題を分析することで、自分の業務を見直すことができた。
- ・同職種間だったので、率直な意見が言いやすかった。
- ・KJ法により、問題が明確になった。
- ・まだまだ、お互いの制度や支援内容について、知らない過ぎると感じた。

(ソーシャルワーカー)

- ・多職種間で、問題と感じている部分が少しずつ違ったため、参考になった。

(その他)

- ・多職種の問題点はそれぞれ違って、それを知ることが出来て良かった。
- ・少し前に進んだのではないかな。

(事務)

- ・今最もタイムリーな問題について、これだけ多くの医療、介護、行政等のスタッフが1か所に集まったのグループワークが出来てよかった。

4. 本日の研修会で改善したほうが良い点について、お聞かせください。

(医師)

- ・実施に向けた対応策についても検討できると良い。
- ・地域包括ケアについて相互に理解する必要がある。
- ・このグループワークは何度かやったが、毎回同じような問題点のようにみえる。
- ・当然出るべき疑問が出ただけで、理解を深めるまでは進んでいないと思う。
- ・テーマがぼやけすぎている。
- ・頻りに顔合わせの機会が必要。

(歯科医師)

- ・もっと多職種の仕事内容を知れるような研修が良い。
- ・簡単で良いので、各職種の紹介があると良かった。今年度の最終回までに、話し合う項目の予定表等があると良い。
- ・全体像が分かっていない。今後どのように進めていくの分かっていない。

(薬剤師)

- ・相互理解の時間が欲しかった。
- ・各所属だけの話で終わってしまったため、もったいない気がした。時間を延長してシャッフルして話し合いをした方が、コミュニケーションが図れるのではないかな。
- ・各職種のあげた問題点を細かく見てみたかった。

(看護師)

- ・今回は、多職種連携のグループワークが良い。
- ・お互いの意見発表のみで、意見交換や問題解決ができていない。
- ・今後多職種の方との顔合わせる機会を作ってほしい。
- ・多職種間での連携の事例を含めて検討していくと良いと思う。
- ・昨年度の研修の続きになっていない。できればステップアップしていくような研修してほしい。

(保健師)

- ・グループワークの時間が短かった。
- ・グループワークの人数が多かったところもあるため、8名程度が良いと思う。
- ・1時間半の研修だったが、2時間程度あっても良いと思う。
- ・多職種間で話し合いの時間ももっとあれば、解決方法や組み立てのイメージまで検討できたのではないかな。

(社会福祉士)

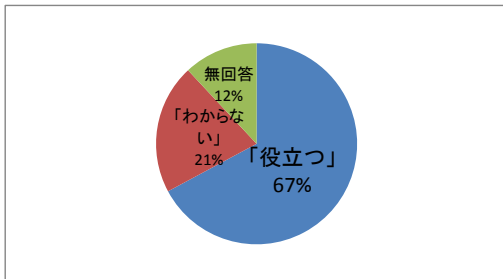
- ・同職種間での問題はあがっていたが、今後どのようにしたら良いのか具体的な解決策がなかった。

(その他)

- ・研修会数を増やすべき。
- ・多職種間の討議が必要と感じた。
- ・前回もそうだが、問題点の改善についての話がない。きちんとまとめて報告も作成すべき。

5. 今後の業務や地域連携・多職種連携に役立ちそうですか？

	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	保健師	歯科衛生士	社会福祉士	介護支援専門員	ソーシャルワーカー	事務	その他	無回答	計
「役立つ」	8	3	6	9	5	3	2	3	2	1	2	1	45
「わからない」	5	2	1	3		1		1				1	14
「あまり役立たない」													
無回答	2	1	1		1	1		1				1	8
計	15	6	8	12	6	5	2	5	2	1	2	3	67



※ リハビリスタッフ、相談支援員は参加者なしのため上記表から除外。

6. 今後の研修会に関する運営の要望や、研修会で企画してほしい取り組み・内容がありましたらご記入ください。

(提供して欲しいもの)

- ・既存のもので構わないので、医療、介護に関して地区分析したもの
- ・実際に住民に近い存在である、民生委員からの情報
- ・他県や他地区でうまく進んでいるところの資料

(運営について)

- ・同じことでも良いから時間がある限り研修を何度もやっていきたい
- ・もっと多くの職種の参加が必要
- ・各団体へ、研修会のまとめと報告書を送って欲しい
- ・今回、会場が寒かったため空調の調整について

(研修会の内容)

- ・地域包括ケアの全体像と、地区における実際の連携システムについて
- ・お互いの職種を理解するための内容(各職種ごとの取り組み)
- ・各職種による、できることのプレゼンテーション
- ・各職種間のコミュニケーション、絆づくりのできるような内容
- ・研修会後の懇親会
- ・焦点を絞った討論を、今回よりも少人数で行う
- ・問題の共有で終わるのではなく、知識共有など次の一歩へ進む内容
- ・問題提起や次の行動を互いに提案し合う
- ・実際の事例を通して検討し、顔も見える連携を深めていく
- ・各職種の中で、メインとなる機関の候補についての話し合い(リーダーシップをとる人の確認)
- ・みやま、柳川で分かれて検討する場もつくる

7. 全体を通しての感想をご自由にご記入ください。

- ・これからは回数を増やして何度もやってほしい。
- ・各職種の問題点が浮き彫りになった研修会だったため良かったと思う。
- ・もっと多職種の方とコミュニケーションを図っていききたい。
- ・研修会での検討結果、地域での方向性等を、本日欠席している方にもうまく伝えていく必要を感じた。
- ・職種代表として、今後情報発信して、職能について理解していただけるようがんばりたい。
- ・在宅の知識不足を感じたため、自分自身研修をつんでいく必要を感じた。
- ・各職種が問題点に関して着目するところにも違いがあり、勉強になった。
- ・今後に期待したい。
- ・今日の研修会で、情報の共有、コミュニケーションの問題点を実感した。
- ・もっと多職種への理解、知識が必要。
- ・全員の顔を見ることは出来なかったが、同じ空間で話し合いができたことは良かったと思う。
- ・多職種の方も同じような思い(問題)を感じていることが分かった。
- ・普段あまり関わることのない、歯科医師の方の声が聞けたことが良かった。
- ・最終的に何を作り上げようとしているのか、目標がはっきりと感じられなかった。
- ・他の業種の仕事内容をお互いに分かっているのに連携が図れるのか不安になった。
- ・とても緊張感があった研修だった。
- ・理想、構想は素晴らしいと思うが、実際はといえば、費用の問題や様々な立場からのしがらみがあると思う。
- ・漠然としていてよく分からなかった。
- ・第1回としては良かったと思うが、2回、3回と継続していく形をつくらなければ意味がないと思う。